



▲高戸谷地区では全家庭で生ごみ処理器を設置しています。

ごみ処理費用



ごみの収集日が四月一日から大幅に変わりましたが、皆さんご家庭では収集日を守っていますか。さて年々増え続けるごみ——五十九年度はごみを一トン処理するのに一万三千五百円（五十八年度は一万二千円）もかかります。市ではごみの量と処理費用を少しでも削減するため「生ごみ処理器設置事業」や「資源ごみ回収運動」などを実施しています。皆さんご家庭でもごみの減量作戦にご協力ください」と願っています。

1. ごみ減量作戦①

生ごみ処理器に補助金

年度から実施しています。

ご家庭から出されるごみ——特に台所からのごみ（野菜クズ、残飯など）は水分が多く、一時預かり所やその周辺は汚水と悪臭が漂い付近の方々から苦情の電話が寄せられています。また水分の多いごみは焼却炉に入れても燃えにくいため、重油を使って燃やすことになります。

そこで市では、こうした苦情の解消とごみ処理費用を減らすため「生ごみ処理器設置事業」を五十八

ツクの容器に野菜クズなどを投棄し、発酵させて肥料化せるもので、価格は百五十ドルのもので六千円前後ですが、市では半額を補助（限度額三千五百円）しています。また、いままでは共同での購入に限り補助していませんが、今度からは個人で購入した分も該当することになりました。購入希望の方は、前もって電話で環境衛生課へお申し込みください。

▼生ごみ処理器取扱店
正札竹村（大町）

旭プラスチック（一心院南）
ホテヤ薬局（大町）

▼申込み締切り 5月31日（金）

◇奨励金 市民団体が市の指定廃品回収業者（八業者）に廃品を売却した場合、売却代金とは別に廃品一キロ（当り二円（空ビンは1・8円、2リットルビンを一本二円とする）を市から奨励金として交付します。

「電池保管袋」を配布します

乾電池や体温計、蛍光灯にはたいへん有害な水銀が含まれており、焼却したり、埋めたりすることにより環境汚染が心配されています。しかし皆さんご家庭から出される燃えるごみの中には相変わらず電池などの有害ごみがかなり混っています。そこで市では、使用済の乾電池や体温計などを年二回ある「粗大ごみ、有害ごみ収集日」まで保管していただきために「保管袋」を配布します。収集日には保管袋から別の透明なビニール袋に入れ替えて一時預かり所に出してください。

資源ごみ回収運動

ごみ収集日に出されるごみの中には、新聞紙、ダンボール、酒瓶、鉄クズなど再利用できるものがあります。

この再利用できる廃品を回収する「資源ごみ回収運動」に五十九

年度は八十七団体が参加し、市から六十六万七千円余りの奨励金が交付されました。回収量の多かつたのは糸迦内雇用促進住宅自治会で、次いで有浦子供会、御成町二丁目老人クラブ、餅田子供会の順となっています。皆さんの町内会や子供会、婦人会でも参加してみませんか。

入場料・S=2,500円
A=2,000円
B=1,500円
C=1,000円

入場券発売日・5月1日

いま、ヨーロッパで最も人気のあるアンサンブル

パリ音楽祭室内合奏団

とき・6月10日(月)

午後6時30分開演

ところ・市民文化会館大ホール

演奏曲目

ヴィヴァルディ/交響曲二短調

モーツアルト/ディヴェルティメント二長調

J.S.バッハ/2つのバイオリンのための協奏曲



◆入場券発売所 市民文化会館(☎49-7066)、秋北バス本社観光案内所、正札竹村、秋北ホテルターミナル旅行案内所、いとく大館ショッピングセンター、又久書店、大森商店(花岡)、阿部履物店(十二所)